

■ 第2回 新潟市中央区公園施設等指定管理者申請者評価会議

日時：令和7年10月21日(火) 午後2時15分～

場所：新潟市中央区役所 5階 対策室

(司 会)

それでは、会議を再開いたします。次第の3、プレゼンテーション・質疑応答です。石宮公園地下自転車駐車場について、環境をサポートする株式会社きらめきさんからプレゼンテーションを行っていただきます。時間は15分です。15分になりましたらベルを鳴らしますので、プレゼンテーションの途中でも終了してください。その後15分ほど、質疑応答となります。

それでは、よろしくお願いいたします。

(環境をサポートする株式会社きらめき：斎藤)

環境をサポートする株式会社きらめき、斎藤です。

(環境をサポートする株式会社きらめき：松田)

同じく、松田です。

(環境をサポートする株式会社きらめき：斎藤)

本日は、貴重なお時間をいただきまして、誠にありがとうございます。これから、すでに提出させていただいております事業計画書の中身につきまして、松田から若干の補足説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

(環境をサポートする株式会社きらめき：松田)

よろしくお願いいたします。

はじめに、新潟市の施設に対する理解ですが、当社は、同施設が以下の役割を担っていると考えます。①新潟駅周辺の駐輪場難の緩和。②新潟駅周辺での放置自転車の減少に貢献。③盗難防止として、一番安全な施設内自転車駐車場。④スマートモビリティシティの実現。⑤その他にいがたレンタサイクルとの連携を継続などがあります。

施設運営の基本方針、既存ノウハウを生かした施設の管理方法ですが、石宮公園地下自転車駐車場では、次の4施策により、利用者に安全・安心、快適な環境を提供いたします。①管理人全員に警備員教育を実施し、盗難防止、放置自転車の防止促進に寄与いたします。②現在行っているにいがたレンタサイクル事業を継続し、より一層の施設活性化を図り、施設効用を最大限に発展させます。③施設PR活動として、中学校だけでなく、進学後の高校、専門学校などにもリーフレットを配布、また、アンケートにご協力いただいた方々にはノベ

ルティグッズを進呈して、ロコミによる利用拡大を展開します。④高齢者を積極的に雇用することで、高齢化社会における有能な人材の適材配置を実施します。また、当社は、県内唯一の自転車駐車場指定管理者です。石宮公園地下自転車駐車場のほかに、亀田駅前地域交流センター自転車等駐車場、長岡市市営自転車駐車場3施設の合計5施設を管理運営しており、他社にはない独自のノウハウを持っております。

続きまして、施設利用促進の取り組みですが、広報活動として以下の3施策を中心に行ってまいります。①従来から進学を控えた中学生に向けて、中学校へのPRを行ってまいりました。それだけではなく、公共交通機関を利用している皆様へスマートモビリティシティの実現を改めて考えていきたいと考えております。特に、学生の方々へ、定期利用の多い県立南高校、市立万代高校を中心とした高等学校、専門学校に向けてリーフレットを配布し、3密を避けるためにも、自転車を使った通学への切り替えをお願いして、稼働を増やす対策を行います。②ホームページの充実。同施設及び自転車等の情報を定期的に発信します。③にいがたレンタサイクル研究会様との連携を行い、レンタサイクルの利用促進を図ります。

続きまして、自主事業の提案内容ですが、①から⑥に関しましては、現在も実施しております。同施設は地下の施設という特性があるため、安全管理を基本に、安全・安心を確保したうえで業務を行い、むやみに自主事業を増やすことはせず、お客様からご要望のある内容のものを継続し、利用者の満足度を高めてまいります。にいがたレンタサイクル研究会様と連携し、現在行っているにいがたレンタサイクル業務を継続いたします。レンタサイクル業務手数料は、全額管理運営費に充当し、管理運営費の削減に役立てます。

また、苦情への対応ですが、ご覧のチャート図に従い、寄せられた苦情、クレームには真摯、誠実な対応を心がけ、スピード感をもって所管課様と連携しながら、即日対応いたします。なお、即日是正措置を取ることができない事項に関し、原則三日以内に、できるだけ早い対応を行います。また、個人情報の保護に関しまして、当社独自の個人情報保護方針に則り、管理、研修を行ってまいります。同じく、当社は独自のコンプライアンスマニュアルを保持しており、本社プロパティマネージャーと本社管理責任者を中心として、コンプライアンス遵守を充実させてまいります。

続きまして、従業員の雇用・労働条件・人員配置ですが、コスト削減から常時1名体制も検討しておりましたが、同施設が地下にあること、券売機があること、営業時間に早朝、深夜が含まれることから、利用者の安全確保のため、常時2名体制を継続いたします。また、月曜日の前日の日曜日は、あらかじめ定期券の更新をされるお客様が多数いらっしゃるため、午前中の3時間は1名増員し、3名体制で対応を行い、お客様の利便性を高めます。

年間1万1,000人以上の利用者がいる本施設にとって、危機管理はシビアな問題です。令

和6年1月1日に発生した能登半島地震では、改めて指定管理者としての防災、災害対策の重要性を再認識いたしました。今後とも、利用者の安全を第一に考え、各種マニュアルを基に研修、指導、訓練を行うとともに、気配り、目配りをする事で、災害及び事故を未然に防いでいきます。

まずは、予防についてですが、日常的な安全対策については、1日4回の巡視を実施し、危険を早期に発見します。次は、訓練及びマニュアルについてです。年1回、消防訓練、誘導訓練を実施し、実践的な消火訓練、消火器の使用方法を学びます。避難場所経路を確認し、火災、災害発生などの緊急時に、利用者の方々への確な避難指示が行えるよう、模擬演習を行います。また、災害、事故発生時は、緊急連絡体制、対応マニュアルに沿って対応します。大規模災害が発生した場合には、いち早く施設の災害状況を点検し、所管課様へ報告するとともに、安全に利用者の救護活動に協力します。

続きまして、当社の地域貢献活動の取り組みですが、アビリンピックにいがたの運営協力、障がい者商業体験学習への協力、県立高等特別支援学校への就労指導、授業協力を行ってまいりました。また、若者サポートステーションへの就労支援、職場訪問、職場体験、ジョブトレーニングの受入れ、障がい者対象の清掃作業指導講習会の開催などの実績があり、同施設は地域や社会への貢献の現場として自負しております。

現職員についても、全員が新潟市民で原則継続雇用の予定です。また、新規採用職員についても、特殊な技能を有する者以外は原則地元雇用とします。消耗品、備品についても極力地元購入とします。再委託先についても、原則、市内の業者へ委託いたします。

最後に、私たち環境をサポートする株式会社きらめきは、常に地域とともにあるをモットーとし、地域の発展を第一に考えています。この19年間の実績と、県内唯一の自転車駐車場の指定管理者としてのノウハウを活用し、地域の皆様により安全・安心、快適な環境で利用できるよう努力してまいります。その観点から、ぜひ、当社に選定していただけるようお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

(司 会)

ありがとうございました。

それでは、質疑応答を始めさせていただきます。質疑応答の時間は15分としますので、ご質問のある方は発言をお願いいたします。

(岸委員)

ありがとうございました。

施設の利用促進の取り組みのところで、表を出していただいているのですけれども、これまでの実績、令和2年から見ていくと、令和5年で利用者数が大幅に減少されているかと思い

ます。それで、この先の見込みということで、令和9年ごろ1万5,000人という形で算出されていっちゃって、そのあと1万4,000人、1万5,000人、1万2,000人と減少していく。この辺りの根拠はどのような形で出されているのでしょうか。特に令和9年に向かって上がっていった、また10年以降下がっていくという形で、利用人数目標というものを算出されていっちゃうかと思うのですけれども、この辺りの算出根拠は何でしょうか。

(環境をサポートする株式会社きらめき：斎藤)

すみません、算出根拠については、これくらいの目標値を持ってということなのですが、大変申し訳ありません。合計のところは、また下がってきていますけれども、実際は合計は徐々に上がるということで、大変失礼いたしました。数字は年度ごとに目標値としては上げていくということです。定期とか学生の一時利用も含め、徐々に増やしていく予定のところではあります。すみませんでした。

(岸委員)

ちなみにもう一つだけ。それは、この広報活動を実施させることによって上がっていくということを見込まれているということですか。

(環境をサポートする株式会社きらめき：斎藤)

そうです。松田が、実際、毎年、学生とか学校とかにもチラシを持って行って、ご利用のPRをさせていただいていますので、ぜひ、そういう方々からご利用いただけたらなと考えております。

(岸委員)

分かりました。ありがとうございます。

(司 会)

すみません、今の点について。3ページのところですよね。単純な数式ミスということではよろしいですか。

(環境をサポートする株式会社きらめき：斎藤)

はい。大変申し訳ございませんでした。

(驚頭委員)

6ページのシフト表があるのですけれども、これは毎月、何日前くらいまでに提出されていますか。

もう1点、有給休暇を取得されている方とされない方がいますが、その違いを教えてください。

(環境をサポートする株式会社きらめき：松田)

シフト表が何日前に提出というのは、こちらから職員へですよね。

(驚頭委員)

そうです。

(環境をサポートする株式会社きらめき：松田)

大体10日前くらいです。

有給休暇は、有給休暇を取得する希望を出した方に有給を入れている形になっておりますので、特に、令和7年9月はこの方々が有給を申請されておりますけれども、ほかの月ではまた別の方が有給を取得したりしております。

(驚頭委員)

有給休暇（パートのみ）の意味が分からないですけれども。一番右下です。有給休暇（パートのみ）と書いてあるのです。これはどういう意味でしょうか。

(環境をサポートする株式会社きらめき：松田)

そうですね。職員すべてパートタイマーなので、ここは本来、必要のない項目です。申し訳ありません。

(驚頭委員)

承知しました。

(司 会)

ほかにございますか。

熊本委員からは。

(熊本委員)

特にありません。

(岸委員)

よろしいですか。8ページのところ、要望、苦情への対応、これはお客さん、利用者の人たちはどういう形で苦情とか要望というものを提出できるのですか。

(環境をサポートする株式会社きらめき：松田)

直接職員に苦情を。苦情をいただいたことがないので、職員に苦情を申し出るかなと思います。

(岸委員)

場合によっては、苦情ではない、もっとこうしてほしいとか、要望のほうでしょうか。要望も、それが、例えば、次の自主事業につながったり、場合によっては、今回もいろいろ自主事業、タオル無料貸し出しサービスとか傘無料貸し出しサービスとかみたいなものを挙げていらっしゃるかと思うのですけれども、こういったようなものがお客様の声から来ているのかなと思ったので、こことの何かつながりがあるのかどうかと、それをどうようにし

て広く取られるかといったようなものを、もし何かあるのであれば、お聞かせいただけたらと思います。

(環境をサポートする株式会社きらめき：松田)

毎年1回、アンケートを実施しておりますので、ご利用者様の要望などは書いていただいて、そういう要望があったものをなるべくやっていきたいと思っております。

(環境をサポートする株式会社きらめき：斎藤)

また、石宮の現場は、職員が1日二人体制になっていまして、貸し出しの際に、利用者と密なコミュニケーションができる場所なので、何かあれば、現場の職員が松田に報告をちょくちょく上げてくれていますので、そういったものを本部としても取りまとめながら、所管課の皆さんにも報連相というか、いろいろ共有させていただきながら対応させていただいております。

(岸委員)

いろいろ、自転車の事業をやられている中で、石宮公園の課題みたいなものはどのようにして認識されていらっしゃるでしょうか。今、5施設ですか、新潟市の石宮と亀田と、長岡とかいろいろやられていると思うのですけれども。

(環境をサポートする株式会社きらめき：斎藤)

石宮が、やはり、人数が減ったのが、一つ、やはり課題としてはあります。いろいろ我々もどうしてなのかなというのを考えてはいるのですが、当然ながら、一つは子どもの減少に伴って学生の利用が少なくなるというのは一つあるだろうと。もう一つは、駅南のところにも無料の駐輪場があり、また、万代と新潟駅の通路というのですか、あれも整備された中で、わざわざ石宮にというところはあるのかなとは思っています。なので、こういうサービスも含め、石宮としてのメリットを我々も今後打ち出していって、利用者の増加を図っていかねばいけないなというところは課題として考えております。

(岸委員)

そう考えると、ここの利用者のところを拝見すると、学生数はとても多いではないですか。定期学生。他方で、定期一般がどのくらいでしょうか、3分の1行かないくらいですか。ということを見ると、これから、例えば、新潟駅で無料のところが増えると、学生はそちらの無料のほうに行きやすい可能性がある。他方で、屋根もあって非常に環境がよいとなると、もっと、むしろ一般の方々が自転車の環境、置いている環境を考慮する人たちが置きに行くといったようなすみ分けがなされる可能性もあるのかなと。そうすると、これから広報活動とかというの、学生よりもむしろ今、若干少ない定期一般とかというものが、これから、場合によってはすみ分けのときの石宮自転車の場所を利用する人たちになるのかなと、

私は素人ながら、自転車を管理したことはないのですけれども、思ったりするのですけれども、その辺りはどうなのですか。広報活動として、拝見すると、割と学校へのアプローチというものがメインでされているということを考えると、やはり、これからも定期の学生は増やしていくといったようなことが一つ重要なポイントになってくるのでしょうか。

(環境をサポートする株式会社きらめき：松田)

おっしゃるとおりです。けっこう、高級な自転車も流行っておりますので、なかなかそういう方がフリーの駐車場に止めるというのは。

(岸委員)

なかなか考え難いです。それで、学生は安いところに取りあえず置いておくみたいなことになる、お金を払って止めるとなると、管理人もいてということになると、一般の、自転車をきれいに保管しておきたいといったような人たちの利用が増える可能性はあるかもしれないかなと思ったのです。

(環境をサポートする株式会社きらめき：斎藤)

非常に、メリットとして考えられるので。ぜひ、そういうご意見も、貴重なご意見なので、我々も取り入れながら取り組んでいきたいと思います。

(岸委員)

とても興味があるのですけれども、自主事業のBGMサービスというのはどういうことなのですか。

(環境をサポートする株式会社きらめき：松田)

有線を流しています。

(環境をサポートする株式会社きらめき：斎藤)

地下なので、非常に無機質な空間になってしまうので、BGMはそういう形で有線を契約させていただいて流しているところです。

(岸委員)

この辺は、自主事業と言っても、お金で返ってくるといったような自主事業ではない、利用者が気持ちよく利用できるというところになると、特に自主事業でお金が具体的にとれる自主事業というのは、自転車簡易修理サービスが、いわゆるお金を取って行うような自主サービスになっている。これ以外は基本的に無料、BGMもそうですよね。ネット定期利用申込サービスというのも無料。自転車簡易修理サービスは自主的にお金を徴収して行う自主サービスだということでしょうか。

(環境をサポートする株式会社きらめき：斎藤)

はい。

(岸委員)

ありがとうございます。

(鷺頭委員)

勤務体制、すみません、また質問ですが、1日4名体制で、常時は2名というご説明だったと思います。しょっちゅうお客が来られるわけではないから大丈夫でしょうけれども、休憩はきちんととれていますでしょうか。

(環境をサポートする株式会社きらめき：松田)

取れています。大丈夫です。

(鷺頭委員)

どういう形で取られていますか。

(環境をサポートする株式会社きらめき：松田)

常時2名体制ですけれども、大体12時くらいに一人、事務所のカーテンを閉めて休憩しています。利用者が来ない時間、一人体制ということです。

(鷺頭委員)

来たらすぐ戻れという指示はしていませんか。

(環境をサポートする株式会社きらめき：松田)

していません。大丈夫です。

(鷺頭委員)

そこが一番ポイントになります。

あと、時間的に深夜のところがあります。これは当初から深夜というシフトで組んでいて、残業ではないですね。

(環境をサポートする株式会社きらめき：松田)

はい。

(鷺頭委員)

分かりました。

(司 会)

質問時間はあと5分ほどございますが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。よろしければ、これでプレゼンテーションを終了いたします。申請者の方はありがとうございました。

(環境をサポートする株式会社きらめき：松田)

ありがとうございました。

(環境をサポートする株式会社きらめき：斎藤)



ありがとうございました。

(司 会)

傍聴されている方はここで退出となります。傍聴いただき、ありがとうございました。